



かわさき
学校だより
ホームページ
http://www.kameyama-mie.jp/kblog/kawasaki/

コミュニティ・スクール基本理念 一地域の中で、みんなで生き生きと学ぶ川崎っ子の育成—
川崎小学校 めざす学校像 ふれあいを通して人と人がつながり、学びにあふれる学校

《10月児童会目標
気持ちの良いあいさつをしよう》

川崎小の子どもたちの 学力は・・・パート②



No.14 令和3年9月30日
校長 西口 昌毅



～4・5年生の「みえスタディ・チェック」の結果から～

本年度も、4・5年生対象に三重県が実施する「みえスタディ・チェック」を実施しました。その結果の集計・分析についてお知らせします。

みえスタディ・チェックとは・・・

これまでに行われてきた「全国学力・学習状況調査」等の解答状況を分析して三重県教育委員会が作成した問題で、県下の小学校4・5年生が取り組んでいます。算数、国語、理科の3教科で前学年までに学習した内容が出題され、前の学年に学習したことの定着度を測るものです。

令和3年度から、4年生は算数と国語のみとなり、問題量も減ってそれぞれ20分で取り組みました。5年生は、算数、国語、理科の3教科で、各40分で取り組みました。



みえスタディ・チェックの結果 【平均正答率(%)】

4年生

4年生		R3年度	R2年度	R1年度
国語	川崎小	68.7%	64.9%	61.2%
	三重県	56.8%	57.4%	66.0%
算数	川崎小	68.1%	57.7%	52.1%
	三重県	59.0%	51.8%	56.4%

5年生

5年生		R3年度	R2年度	R1年度
国語	川崎小	75.1%	57.6%	43.6%
	三重県	60.8%	46.2%	47.4%
算数	川崎小	61.1%	57.9%	42.5%
	三重県	57.0%	50.9%	46.5%
理科	川崎小	47.3%	46.8%	41.3%
	三重県	50.9%	49.0%	52.6%

■ % 三重県の平均正答率を上回ったもの

■ % 三重県の平均正答率を下回ったもの

R1～3年度までの3年間の結果を表にしました。
三重県の結果と比べてみると、R3年度は、5年生の理科を除いて、県平均正答率を4.1～14.3ポイント上回っています。(5年理科は3.6ポイント下回っています。)
年度によって、問題や受験者が異なるために一概には比較できませんが、トータルで考えるならば、少しずつ、学力向上の結果が出てきているものと考えられます。

～川崎小学校に見られる傾向～

【4年生国語】

- ・全体的に正答率が高く、基礎的な知識や技能は比較的定着している。
- ・比較的簡単に解ける問題で、正答率が低いものが見受けられる。

【4年算数】

- ・全ての問題において、県の正答率より高い。基礎的な知識や技能は比較的定着している。
- ・分数の意味に関する問題で正答率が低い。

【5年生国語】

- ・県の正答率を大きく上回る問題が多く、基礎的な知識・技能において力がついてきている。
- ・結果から読み取り、数字を入れて記述する問題で正答率が低い。

【5年生算数】

- ・県の正答率を上回る問題が多い。
- ・基本的な問題はよくできるが、活用する場面で課題がみられる。
- ・不注意による誤答と思われるものが見受けられる。

【5年生理科】

- ・基礎的・基本的な問題の正答率が低い。
- ・実験を構想することや、データをもとに分析して、その理由を記述することに課題がある。



～児童が苦手としている問題から～

【国語】

- 質問2の結果から分かることを、数字を入れて書くこと。
- 前後の内容につながるように書くこと。
- 報告にふさわしい言葉つかいで書くこと。
- 五十字以上、六十字以内にまとめて書くこと。

【報告内容】
わたしは、クラスの人たちがどのように読書をしているのかを知るために、アンケートを取って調べました。

まず、この1か月間で本を何さつ読んだかを聞きました。結果は、最も多かったのが、一から三さつの十八人で、次に多かったのは、四から六さつで四人でした。四さつ以上読んだ人は、九人でした。思っていたよりも読んでいる本の数が少なかったため、みんなに本をもっと読んでほしいと思いました。

次に、読書のきっかけは何かを聞きました。結果は、あ

このことから、みんなに本を読んでもらうために、図書室やクラスで、おすすめの本をしようかいするなどの取り組みをしていきたいと思います。

最後に、どんな種類の本が好きかを聞きました。すると、物語が二十一人で最も多いという結果になりました。これはわたしの予想通りでした。

調べたことをおして、今までより多くの人に図書室に来て本を読んでもらえるように、わたしは、本のしようかいの方法を、ふうしたいと思いました。

【報告内容】

木下さんは、アンケート結果から分かること、そこから思ったことを、図書委員会で報告しました。次は、木下さんの【報告内容】です。

あ に当てはまる内容を、あどの(条件)に合わせて書きましょう。

【アンケート】

読書についてのアンケート 5年1組

質問1 この1か月間で本を何さつ読みましたか。一つ○をつけてください。

① 0さつ ② 1～3さつ ③ 4～6さつ
④ 7～9さつ ⑤ 10さつ以上

質問2 あなたが読書をするきっかけは何ですか。最もあてはまるものに、一つ○をつけてください。

① 友だちに本をすすめられたこと
② 家族に本をすすめられたこと
③ 学校の図書室へ行ったこと
④ 地いきの図書館へ行ったこと

質問3 どんな種類の本が好きですか。一つ書いてください。

【アンケート結果】

質問1 (○をつけた人の数)

① 3人 ② 18人 ③ 4人 ④ 3人
⑤ 2人

質問2 (○をつけた人の数)

① 8人 ② 2人 ③ 17人 ④ 3人

質問3

物語	21人
科学の本	4人(うちゆう 2、動物 2)
社会の本	3人(歴史 2、世界の文化 1)
スポーツの本	1人
図かん	1人

(※クラス的人数=30人)

3 木下さんの学校の図書委員会は、みんなにたくさん本を読んでもらうためにどうしたらよいか話し合っています。そこで、クラスの人たちの読書の様子について調べ、次回の図書委員会で調べたことを報告することにしました。次は、図書委員の木下さんが自分のクラスの人たちにに行った「アンケート」と「アンケート結果」です。よく読んで、あどの問いに答えましょう。

小5国語3二の正答率	
川崎小	42.5
三重県	22.5

【正答例】

学校の図書室へ行ったことが最も多く、十七人でした。二番目に多かったのは、友だちに本をすすめられたことの八人でした。(57字)

県の正答率よりは、20ポイント上回っていますが、正答率は50%を下回り、他の問題に比べると低いです。上の4つの〈条件〉すべてを満たした解答が正答ですが、「特に前後の内容につながるように書くこと」の条件を満たすことが難しかったようです。文章だけでなく、表やグラフなど様々な資料から目的に応じて必要な情報を抜き出し、筋道を立てて話したり、書いたりする学習に力を入れていく必要があります。

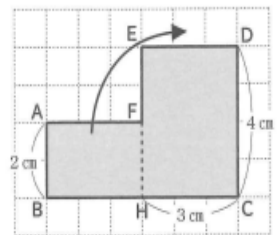
【算数】

(3) 答えが $12 \div 3$ の式でもとめられる問題を、下のアからエまでの中からすべて選んで、その記号を書きましよう。

- ア あめが12こあります。何か食べたなら残りは3こになりました。食べたあめは、どこですか。
- イ 12このあめを同じ数ずつ3人に分けます。あめは1人分何こになりますか。
- ウ 12人の子どもにあめを3こずつ分けます。あめは全部でどこいりますか。



長方形ABHFを長方形EHCDの上に動かして、1つの長方形AHC Fにして考えたよ。



() $\times 3 = 18$
答え 18cm^2

ゆうたさんの考えの () にあてはまる式を書きましよう。

小4算数1(3)の正答率	
川崎小	42.3
三重県	41.9

【正答】
イ、エ

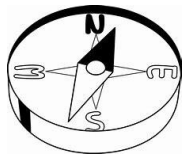
小5算数4(2)の正答率	
川崎小	27.4
三重県	36.8

【正答】

2+4
または 4+2

問題を読んでその状況を式で表すことや、なぜその式になるかなど、考えの過程を明らかにしながら立式していく学習に力を入れる必要があります。今後は、授業の中で、自分の考えを図や式で表すことや友だちが考えた式の意味を説明する活動などを大切にしていきます。

【理科】



小5理科 3 (1) の 正答率	
川崎小	12.3
三重県	35.7

【正答】
ア
南西

学習したことの定着を図るには、「なるほど」「そうか」「わかった」と、子どもたちに実感を伴った理解を促すことが大切です。そのためには、実際に様々な場所で方位磁針を使って自分で方位を調べるなど、体験活動を十分行うことが必要です。また、学んだことを生活の中で活用する経験を多く設け、学習したことが役に立つ経験を多く積ませることも大切です。



小5理科 4 (3) の 正答率	
川崎小	31.1
三重県	27.4

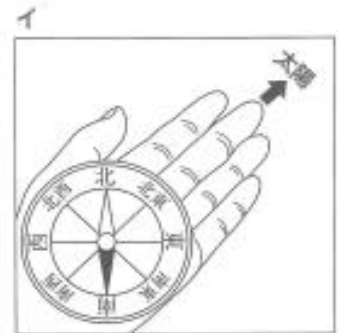
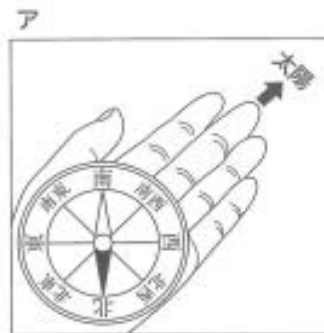
【正答】

水の体積の変わり方の方が、空気の体積の変わり方より小さい。

思考力や表現力をつけるためにも、観察や実験の結果だけでなく、結果から情報を読み取り、何がわかるかを考えて表現することが大切です。

自分の予想を立て、それを確かめるために、どのような条件の実験が必要なのかを考え、その実験結果から何がわかったのか自分の考えをまとめる学習を大切にしていける必要があります。

(1) 午後1時の太陽の方位を、正しく調べているのはどれですか。下のアからエまでの中から1つ選んで、その記号を書きましょう。また、その時の太陽の方位を書きましょう。



実験3

【方法】

- 図3のように、ゴムせんをつけたガラス管の先に水をつけて試験管にさしこんだものと、図4のように、ゴムせんをつけたガラス管を、水で満たした試験管にさしこんだものを用意する。
- それぞれを湯につけたり、氷水につけたりして、ガラス管の中の水の位置や水面の位置を調べる。



図3

図4

【結果】

	はじめ	湯につけたとき	氷水につけたとき
空気	はじめの水の位置	はじめの水の位置	はじめの水の位置
水	はじめの水面の位置	はじめの水面の位置	はじめの水面の位置

【わかったこと】

- 水の体積は、空気の体積と同じように、あたためられると大きくなり、冷やされると小さくなる。
- _____

(2) 温度による体積の変わり方について、空気と水のちがいがわかるように、上の(1)にあてはまる内容を(2)に書きましょう。

6年生「学力・学習状況調査」と、 4・5年生「みえスタディ・チェック」の結果を受けて

今回の学力に関するデータは、その学年だけに限らず全ての学年における指導の在り方に結びつくものです。したがって、結果の分析をもとに、川崎小学校における課題と、その克服に向けてこれからの指導で特に取り組んでいくことを全ての教員間で共有し、1～6年生の日々の授業等において意識的に実践を進めてまいります。

これからの指導で特に取り組んでいくこと

国語

【課題は…】

1. 文章全体の構成、展開から読み取ること（要約）
2. 物語や説明的な文章から読み取ったこと、調べて分かったことなどから、自分の考えを主張する文章を書くこと
3. 目的に応じて様々な情報から読み取ったり、活用したりすること

【取組としては】

1. 読み取ったことを整理するために、思考ツールなどで見える化して、論理的に考える活動を取り入れる。
2. 語句、漢字、言葉（思考に関わる語句など）を使って日常的に書く活動を取り入れる。
（言葉のたからばこの活用）
3. 目的に応じて情報を見比べたり読み取ったりして、自分の考えを書く活動を取り入れる。
4. 読書活動を活用する。（ただ読むだけでなく、本の紹介や内容を要約など）



算数

【課題は…】

1. 求め方や意味を説明すること
2. データ（グラフ、関係）を読み取ること
3. 考え方や、判断した理由を記述すること

【取組としては】

1. 式や解、公式などの意味を考えさせ、説明させる。（線分図、数直線、絵などを活用して）
2. 他教科や生活の中にあるグラフや資料の読み取りを活用し、説明させる。
（理科や社会、総合的な学習などで、グラフからわかることを文でまとめたり、結果をグラフでまとめ、表現したりする。）



理科

【課題は…】

1. 知識・技能の確実な定着
2. 実験を構想すること
3. データを基に分析して、その理由を記述すること

【取組としては】

1. 単元ごとに定着すべき知識・技能（実験方法やその操作の意味を含む）を身に付けているか、単元ごとではなく、定期的に確認する。ぐんぐんタイムで。
2. 実験や観察の意味を考え、予想、実験・観察、結果、考察の流れで学習を行う。
3. 必要なデータを見つけるために、予想を丁寧に言い、結果と考察の意味を捉えて書くことを継続する。

